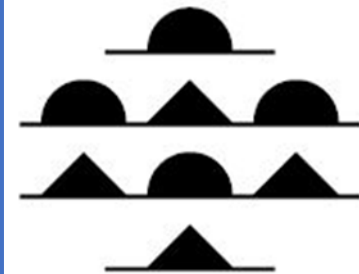


水源地域未来会議

長井ダム周辺オープン化事業

みんながしあわせに暮らせる長井
～ずっと笑顔あふれるまち～

令和8年6月11日



やまがた
アルカディア
観光局

YAMAGATA
ARCADIA
Tourism Bureau

山形県長井市の概要



山形県長井市の概要（地勢）



竜神伝説～1000年の舞～ながい黒獅子



千年の古より伝わる水神の舞ー黒獅子



長井の黒獅子は黒く、目玉が丸く飛び出し、眉が目玉の後方に位置しています。前後に両足で黒の獅子頭は、この地域特有の「蛇頭（じゃがしら）」と呼ばれる形。波頭を表した大塚をまとい、多人数の舞手が入る姿は「むかで獅子」とも呼ばれ、躍動的で力強い迫力があります。

黒獅子舞は、安産・火伏せ・厄除け・子供の成長などを祈願する伝統行事として、市内約40の神社に伝わっています。各神社の例祭では、力自慢の「響聞」に先導された黒獅子が、氏子の家々を軒一軒おみゆり歩き、邪気を払い清めます。

黒獅子の歴史

長井市内の約40社の神社に伝わる「黒獅子舞」は、1068年ごろ、源頼朝が「前九年の役」で勝利した際、総宮神社再建を祝って兵士に舞させたのが始まりと伝えられています。

黒獅子は、獅子でありながら顔に鱗の名残があり、鬃を垂れ、蛇のような長い尾を持つ独特の姿をしています。これは野田に祀る御神の化身を渡したものです。さらに、陸奥道の五行で「水」を可る色が黒であることから、黒色の獅子として舞われるようになりました。

黒獅子舞は、たびたび氾濫する野川に対する畏敬と、水の恵みへの感謝を込めた祈りの舞です。地域の人々は御神に親しみを込めて「おしっさま」（お獅子様）と呼び、今も大切に受け継がれています。



卵の花姫伝説が伝わる神秘の溪谷「三淵」

平安時代、安倍氏の娘・卵の花姫は敵軍に恋をし、敵の秘密を漏らして父を失い、自らも野川上流の三淵溪谷に身を投げました。その遺は御神となり、黒獅子となって里に水の恵みと安寧をもたらす存在へと姿を変えたと伝わります。



両岸の岩壁が切り立つ三淵溪谷は、卵の花姫伝説が息づく場所として今も語り継がれています。ボートでしか通れない絶景を誇る参拝体験では、伝説の舞台に触れ、黒獅子と水の伝承のつながりを感じることができます。

黒獅子の特徴



長井市内約40社の神社に伝わる「黒獅子舞」の具足事項

- ・蛇頭(じゃがしら)であること
- ・波模様が描かれた大塚があること
- ・ムカデ(百足)獅子とも呼ばれる多人数獅子舞であること
- ・獅子の先導役の「響聞(けいご)けいご」または「角力(すもう)」等がいること
- ・大鼓・笛が奏でるお囃子の基本的なメロディーがあること

伝承文化

黒獅子舞の所作は、巻に記されたものを語って学ぶものではなく、直接見て、聞いて、歌からここで受け継がれてきました。「学んだ」というよりも「伝えてもらった」という感覚に近い、完全に同じ形で舞うのではなく、見て真似をする、見て盗むを繰り返す中で身体に刻まれていきます。黒獅子舞は今もなお、人から人へ、世代から世代へと伝わり続ける「生きた文化」なのです。



祭りの変遷と現在の例大祭

起源(平安時代末期～鎌倉時代/12～13世紀)
当時、人々は天災や疫病など目に見えない災いを「邪気」や「魔物」の仕業と考えていました。陰陽師や折神師が祓いを行い、祭りの目的は「災厄を祓うこと」と「戦の勝利祈願」でした。

地域に根付く祭り(江戸時代以降/17世紀～)
時代が移るにつれ、黒獅子舞は地域の神社の例大祭に欠かせない行事となり、掛りの対象も変化。家族の安寧を願う「家内安全」、健康を願う「身体堅固」、米の収穫や由緒繁盛を願う「五穀豊穡」へと広がりました。

現代(21世紀)
現在も、年に1～2回の各神社の例大祭で、黒獅子が境内や氏子の家々を訪ねて邪気を払い、氏子と地域の安寧を願う習わしが続いています。

ながい黒獅子まつり

毎年5月下旬に市内数社の黒獅子が一堂に会し勇壮な獅子の舞いお囃け抜ける

神社による獅子頭の違い



宮 総宮神社



勸進代 総宮神社



小出 白山神社・皇大神社



成田 八幡神社

現存する最古の獅子頭



総宮神社には、「寛文11年(1671)改め」に記された獅子頭が伝わり、この時期には既に獅子舞が舞われていたという物的証拠でもある。

獅子彫り職人



獅子頭を作る「獅子彫り」は、江戸時代からの業とされ、今も東海地方に数人が活動しています。その一人、渋谷五斗さんは、古民家を再生した工房「工舎会獅子堂」と、数代と継ぎを承継した「獅子堂傳承」を営み、黒獅子文化の継承と発信を続けています。ここでは「黒獅子の獅子頭や全国から集めた獅子コレクションを見学することができ、伝統と真を合わせて体験できます。

流し木～木工産業～けん玉～世界へ



流し木置き場（沢の近くの平地）
昭和28年（1953年）頃撮影



木材加工の技術を生かし、
けん玉の生産が盛んになりました。



競技用けん玉生産量日本一！
長井市の市技はけん玉！



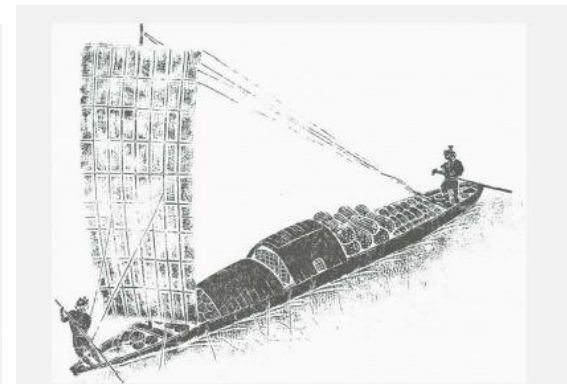
山形県長井市の歴史

一最上川舟運と長井の発展— 水の流れが築いたまちの物語 —

1700年代、物資を運ぶもっとも重要な手段は「**船**」でした。置賜地域は、最上川を利用した**舟運により米や紅花、青苧、絹糸、大豆などを海まで運び、大阪や京都の市場と繋がる重要な最上流部の「川の港町」**として栄えました。上方からの文化を運ぶ「道」でもありました。米沢藩の流通の拠点として、商業が発展し、町場が形成されました。1,900年代にはいると、**鉄道の開通によって舟運の役割は次第に失われ**ました。



【羽州川通絵図(山形県立博物館所蔵)】



【左沢より上流の最上川舟運の主役を担っていた小輪飼舟】

↑国の重要
文化的景観
に選定(平成30年2月)
↓

↑ 最上川舟運の最上流河岸 (川港)



(一社) やまがたアルカディア観光局とは

「アルカディア」の由縁

1878年（明治11年）、英国人女性旅行家イザベラ・L・バードは、著書『日本奥地紀行（Unbeaten Tracks in Japan）』の中で置賜盆地に広がる農村の風景を目にし「東洋のアルカディア」高く称えたことから、この素晴らしい郷を子どもたちに繋ぐ取り組みをしたいとDMOの名称に入れました。

やまがたアルカディア観光局は、2市3町の連携DMOです。
（長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町・小国町）



◆ ミッション 「東洋のアルカディアを子どもたちへ」

◆ ビジョン 「日本最強のローカル」

◆ ブランドコンセプト 「やまがたアルカディア～新たな自分に出逢える郷山」

ダム型式:重力式コンクリートダム
(東北有数の大規模ダム、堤体高さは県内一!)

堤高:125.5 m

堤頂長:381.0 m

堤体積:120万 m³

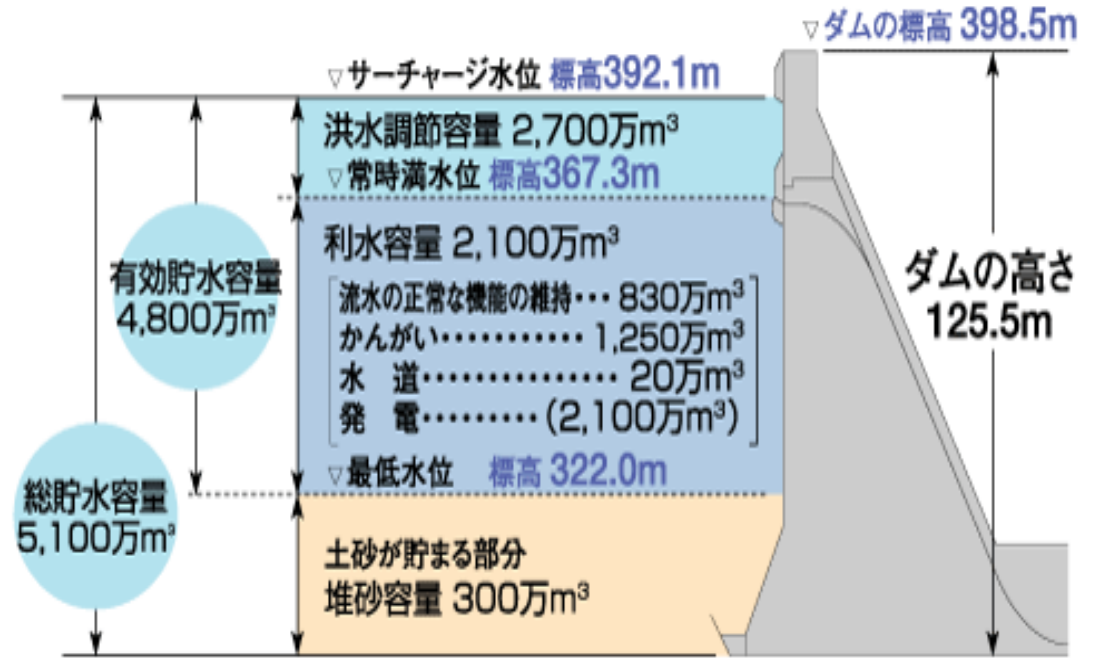
総貯水容量:5,100万 m³

利水容量:2,100万 m³

洪水調節:2,700万 m³

利用目的:洪水調節・不特定利水・かんがい・上水道・発電

着工年/竣工年:昭和54年/平成23年



2006年全国から公募でダム湖の名称を決定しました。長野県安曇野市在住の方が応募した名称を採用。由来は、古事記の一節に

「豊葦原之千秋長五百秋之水穂」

(とよあしはらのちあきのながいほあきのみずほの)から引用したものです。

稲穂の実る美しい国土が、千年も五百年もいつまでもという意味です

長井ダム水辺空間のオープン化（都市・地域再生等利用区域の指定 R2.2.20）

～ にぎわいのある水辺空間の創出を推進 ～

河川管理者

↑ 河川法第24条及び第26条第1項の規定により一時占用の許可を申請

長井市

↑ ↓ 使用契約

民間事業者

- ・（一社）やまがたアルカディア観光局
- ・（特）最上川リバーツーリズムネットワーク



意見

地域の協議会（長井ダム水源地域ビジョン推進会議）

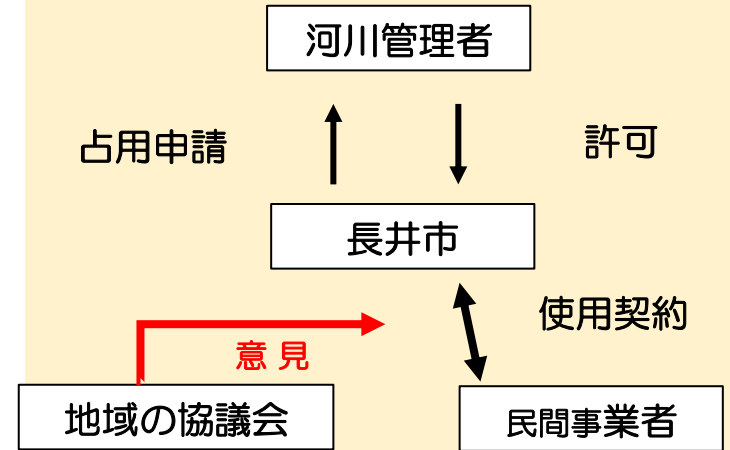
山形県、長井ダム管理支所、地区長、地域コミセン、地域の小学校、植物愛好会、共有地組合、民間事業者

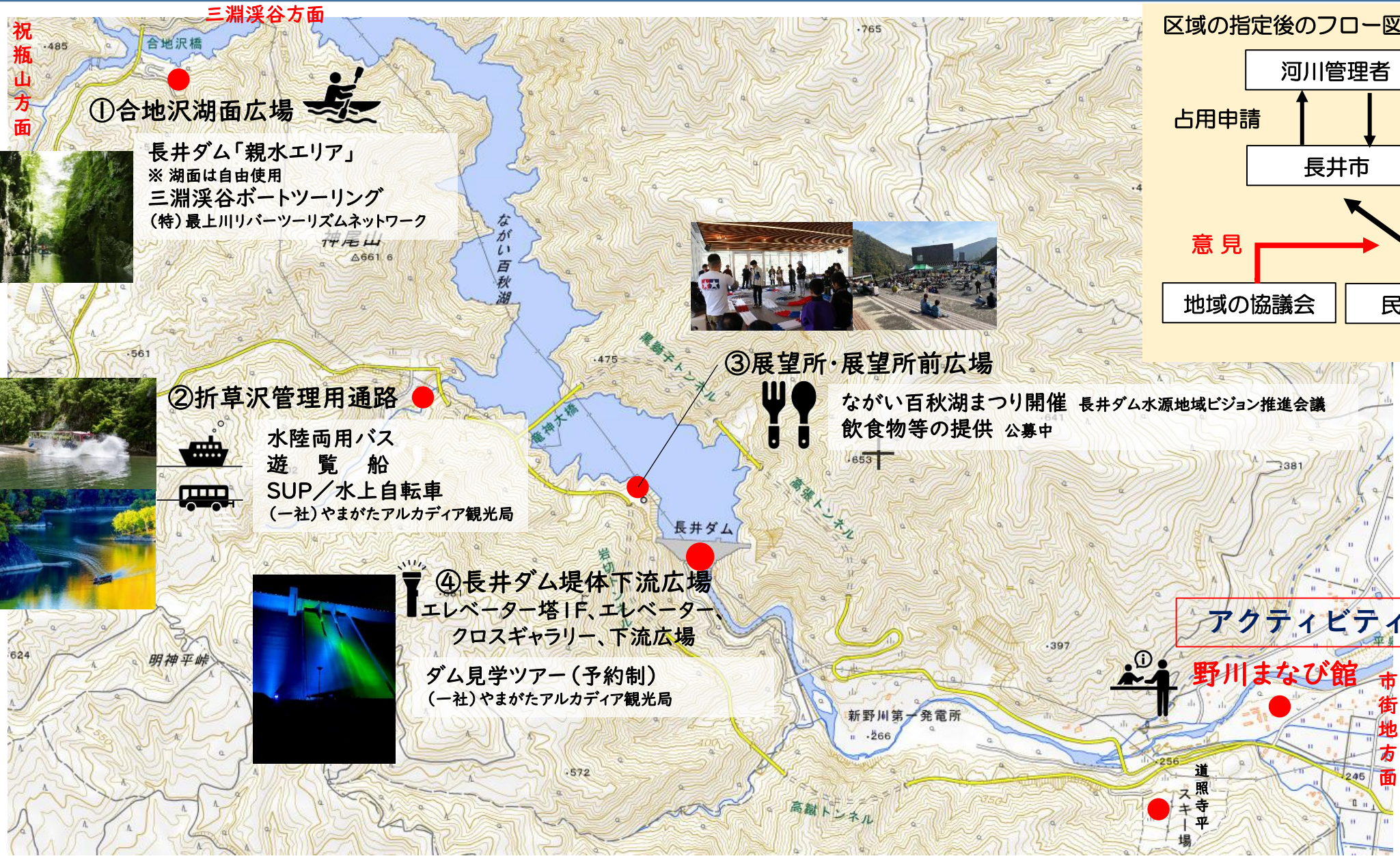
一般利用者
(河川の自由使用)

長井ダム管理事務所に湖面利用を申請

個人でカヌーやSUPを楽しむ

区域の指定後のフロー図（簡易版）





①合地沢湖面広場

長井ダム「親水エリア」
 ※ 湖面は自由使用
 三淵渓谷ボートツーリング
 (特)最上川リバーツーリズムネットワーク



②折草沢管理用通路

水陸両用バス
 遊覧船
 SUP/水上自転車
 (一社)やまがたアルカディア観光局



③展望所・展望所前広場

ながい百秋湖まつり開催 長井ダム水源地域ビジョン推進会議
 飲食物等の提供 公募中



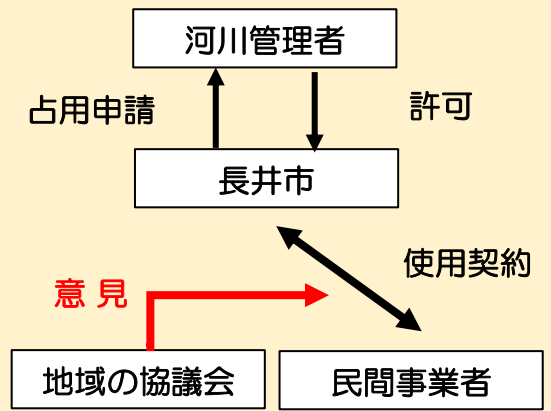
④長井ダム堤体下流広場

エレベーター塔1F、エレベーター
 クロスギャラリー、下流広場

ダム見学ツアー(予約制)
 (一社)やまがたアルカディア観光局



区域の指定後のフロー図（簡易版）



アクティビティ拠点施設

野川まなび館



長井ダム貯水池平面図水辺空間のオープン化 活用位置図

三淵溪谷



折草沢

合地沢
湖面広場



1:5,000

長井ダム周辺 オープン化事業一覧



▲合地沢湖面広場①- 1
R6三淵渓谷ボートツーリング実績
運行日数 69日
乗舟人数 2,654人
※R5実績 78日2,011人



▲合地沢湖面広場①- 2
R6三淵渓谷カヌーツアー実績
運行日数 28日
乗舟人数 108人
※R5実績 42日108人



▲折草沢管理用通路②- 1
R6水陸両用バス実績
運行日数 17日
乗舟人数 781人
※R5実績 12日855人



▲折草沢管理用通路②- 2
R4 ~ R6遊覧船実績
豪雨の影響で開催できず
※R3実績 22日2,083人



▲折草沢管理用通路②- 3
R6 SUP・水上自転車実績
事業実施日数10日
体験人数 50人
※R5実績 4日46人



▲展望所及び展望所前広場③
R6実績 (百秋湖まつりイベント利用)
来場人数 約600人
※R5実績 約600人



▲長井ダム堤体下流広場④
R6長井ダム見学実績 228人
※他、百秋湖まつりでの探検隊 (65人) を実施。
※R5実績175人



▲竜神大橋
R6 バンジージャンプ実績
事業実施日数 2日
体験人数 55人

来訪者の動向と傾向

▼紅葉の時期には、
県公式観光サイトの
アクセスランキングで上位に

やまかたへの旅
山形県公式観光サイト

アクセスランキング



银山温泉



長井ダム／ながい百秋湖



山寺・宝珠山立石寺



ながい百秋湖 遊覧船



ドック沼

▼テレビ番組などでも多く取り上げられ、知名度向上に繋がった。



【オープン化事業実績】

	令和5年度	令和6年度
三淵溪谷ボートツーリング	2,011人 (78日)	2,654人 (69日)
三淵溪谷カヌーツアー	182人 (42日)	108人 (28日)
水陸両用バス	855人 (12日)	781人 (17日)
SUP・水上自転車	46人 (4日)	50人 (10日)
長井ダム見学ツアー	175人	228人
ながい百秋湖まつり	600人 (2日)	600人 (1日)
★ バンジージャンプ	—	55人

※水陸バス最大はR3年 4807人

Arcadia Water Activity



(一社) やまがたアルカディア観光局 下流でのアクティビティ

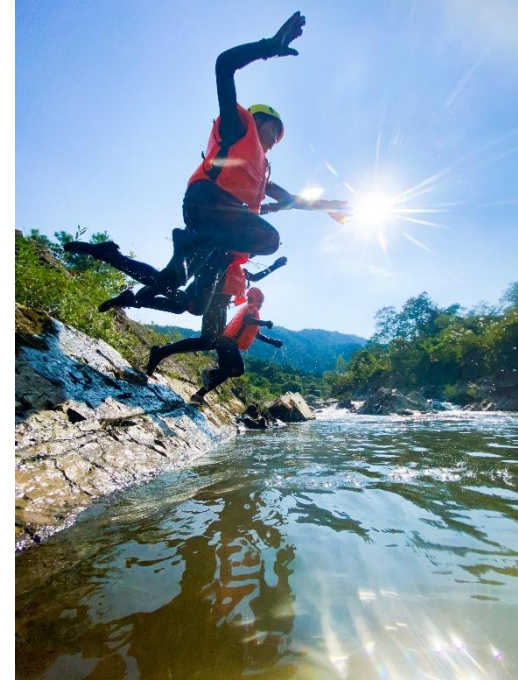
野川まなび館(旧長井ダムインフォメーションセンター)を拠点とした体験事業を実施



いしぶちバギーチャレンジ



シャワークライミング体験



間伐材で雪板づくりワークショップ



(一社) やまがたアルカディア観光局 その他の取り組み

★東北DC限定特典★
★オリジナル限定限定特典のプレゼント！
★熊野山ステッカー（特約ホテル・リゾート）
★熊野山のお土産もついてお返し！

【東北DC特別企画】
**散居集落を望む 熊野山
絶景！夜明けトレック**

～散居集落を包み込む、幻想的な朱（あか）の時間～
やまがた百名山の一つに認定されている「熊野山」。そこから望む、絶景の散居集落の夜明けの風景。朝日が田んぼの水鏡に反射し、散居集落全体が朱に染まる絶景は、旧暦時期の約一カ月限定の景色。

◆期日/令和3年
5/22^土・23^日・24^月・28^金
29^土・30^日・31^月
6/4^金・5^土・6^日

◆時間/2:50～7:00頃
◆集合・解散/運馬寺平スキー場ロッジ
◆募集人員/定員8名(最少歩行人員2名)
◆申込締切/各日3日前まで

◆旅行代金/3,300円(税込・大人子ども別額)
◆山岳ガイド料込 遠征費 お飲み物付 軽登山保険付

◆旅行行程(乗車なし)
2:50※ 運馬寺平スキー場ロッジ集合
3:00※ (熊野山登山口 標高約300m)
山岳ガイドの八木文明さんと合流し、熊野山への登山開始となります。

4:00頃 展望スポット 熊野神社前(標高約590m)
日の出を待つ際、暖かいお飲み物をご用意いたします。(お茶、コーヒー、スープなど)

5:20頃 熊野山山頂(標高約670m)到着

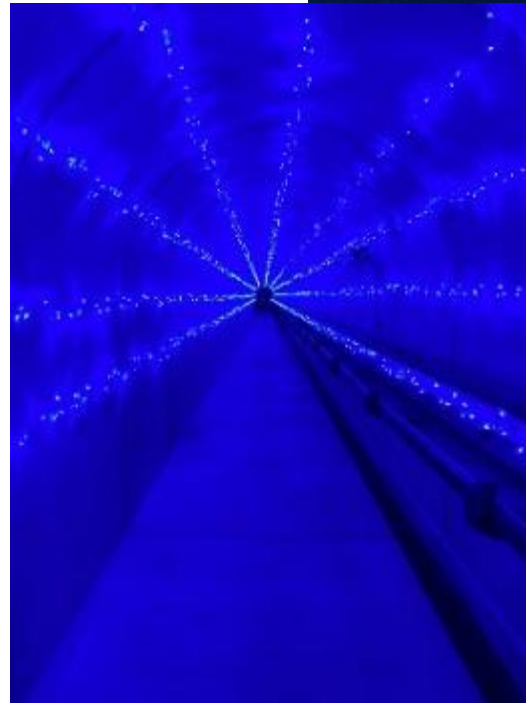
7:00頃 運馬寺平スキー場ロッジ到着(熊野山登山口)
下山後各自解散となります。

◆ツアーの目的は「熊野山八木文明さん」ともなすも山頂で朝の光に照らされ、熊野山を眺めながら、熊野山を歩ける貴重な体験ができる。熊野山を歩ける貴重な体験ができる。熊野山を歩ける貴重な体験ができる。

◆熊野山は、熊野山を歩ける貴重な体験ができる。熊野山を歩ける貴重な体験ができる。熊野山を歩ける貴重な体験ができる。

◆熊野山を歩ける貴重な体験ができる。熊野山を歩ける貴重な体験ができる。熊野山を歩ける貴重な体験ができる。

◆熊野山を歩ける貴重な体験ができる。熊野山を歩ける貴重な体験ができる。熊野山を歩ける貴重な体験ができる。



熊野山夜明けトレック (2020～)

百秋湖まつりでのライトアップ&ナイトトレック

長井ダム水源地域ビジョン推進会議 ～ダムをもっと身近に～



10/27 SUN 9:30-15:00

ながい Nagai 百秋湖 HUNDRED AUTUMN LAKE 湖まつり Festival. Vol.13

市内から、県内から、県外から、
 家族と、友人と、恋人と、新ひとりで、
 見て、聞いて、遊んで、競って、食べて、
 長井ダムを、百秋湖を、満喫してみませんか。

長井ダム湖面巡視体験

巡視船に乗って、ダム堤体付近の百秋湖を満喫！

参加料：無料

受付場所：長井ダム管理支所前

受付時間：9:15～（当日受付のみ）
※人数に達した時点で受付終了

体験時間：9:30/10:30/11:30
 13:00/14:00

定員：各回10名

野川まなび館発の無料シャトルバスをご利用ください

長井ダム探検隊（ガイド付）

普段見ることのできない長井ダムの堤体をご案内！

参加料：300円（高校生以上）
 100円（小中学生）

受付場所：長井ダム管理支所前

受付時間：10:00～（当日受付のみ）
※人数に達した時点で受付終了

体験時間：10:30/11:00/11:30
 13:00/13:30/14:00

定員：各回12名

野川まなび館発の無料シャトルバスをご利用ください

【実施団体】やまがたアルカディア観光局

こども縁日コーナー

会場：野川まなび館

時間：9:30～15:00

参加料：1回100円

シューティング
 ティクスロー
 スーパーボールすくい
 etc...

ミッション成功者には駄菓子プレゼント♪

ミニ四駆レース

事前申込 当日参加OK

会場：長井ダム管理支所前展望所内

雄大なダム湖を眺めながらレースを楽しもう！

10:00～フリー走行

11:00～レース（ジュニア部門）

13:00～レース（素組部門、一般部門）

詳細 & 申込

素組部門	100円
ジュニア部門(中学生まで)	200円
一般部門	300円

野川まなび館発の無料シャトルバスをご利用ください

【ミニ四駆レースの問合せ】やまがたアルカディア観光局 野川まなび館 ☎0238-87-0605

長井ダム流域の住民や活動団体で組織する「長井ダム水源地域ビジョン推進会議」が主体となり実施。流域の連携と活性化に繋がっている。（地元代表や行政関係機関等で構成）



←長井ダム水源地域ビジョン推進会議の様子



↑長井ダム展望所前広場でのステージイベント



←子どもたち大集合！展望所でミニ四駆大会「第1回百秋湖カップ」

これからも、まちとダムを繋ぎながら、地域活性化と
持続可能な観光地域づくりを目指し取り組んでいきます。

ご清聴ありがとうございました。

ウォーティー



フラッティー

